



小郡市立小郡中学校

令和7年3月8日



小郡中学校だより

第230号

祝 卒業

校長 船津 聡 哉



学校教育目標 ~夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成~

巣立っていくみなさんへ【ご卒業 おめでとうございます】



126名の卒業生のみなさん、ご卒業 おめでとうございます。
私はみなさんに出会い、3年間、一緒に過ごすことができたことを本当にうれしく思うとともに、義務教育9年間の総まとめにふさわしい生徒に成長してくれたことを誇りに思います。



3年前、小学校時代から新型コロナウイルス感染症による様々な制限、制約を経験してきただけに、不安を抱きながらの中学校入学だったのではないのでしょうか。しかし、月日の経過とともに、その不安も少しずつ和らぎ、活動の幅も広がり、今では、学校生活も本来の姿を取り戻し、学校全体が活気に満ちあふれるようになりました。そのような中、本年度の体育大会、文化発表会におけるみなさんの活躍は深く印象に残っています。最高学年としての自覚をもち、自分たちのやるべきことを理解しながら、リーダーシップを発揮し、学校全体を大いに盛り上げてくれました。言葉だけではない、実際の行動で見せてくれたみなさんの姿は、成長したなあと感じるうれしい瞬間でもありました。

部活動や生徒会活動でも、生き生きと後輩を導く姿がありました。特に、本年度は仲間の定義や仲間づくりをすすめる上で大切にしていこうと整理した『小郡 中人権宣言』をつくりあげ、昨年12月には全校生徒で確認するなど、本校の伝統に良き1ページを書き加えてくれました。「仲間づくり」を合言葉にした人権文化に満ちあふれた学校づくりに大きく貢献してくれたことに心から感謝するとともに、それは下級生へと受け継がれるものと確信しています。

保護者をはじめ家族の方々から、時には励まされ、時には叱られ、今日の日を迎えました。また、地域のたくさんの方々の励ましや温かいまなざしに支えられていたことも忘れてはいけません。これまでの成長を見守ってくださったすべての方々への感謝を忘れないでください。

中学校3年間は人生の中でも自分の生き方の基礎をつくる大事な日々だったことを、卒業する今だからこそ、しっかりと胸に納め、新たな挑戦のスタートとしてほしいと願っています。

小郡中でのみなさんの足跡【追想】



卒業生の足跡は大きいものがあり、成長できた3年間だったと思います。振り返れば…戦争の悲惨さ・平和の尊さや日本の歴史・文化を学んだ広島・京都・奈良への修学旅行。新生徒会・実行委員会の初仕事で、学年の団結の一步にすることができました。

そして、3年生になり、生徒会スローガン『飛躍 ~さらなる一步を~』のもと、特に、学校行事を通してのみなさんの成長は目覚ましいものがありました。

『主役 ~輝くのは私たち~』をスローガンにとりくんだ体育大会。たくさんの方々の保護者や地域の方々に見守られる中、与えられた時間・空間の中で一人ひとりが全力を尽くし、笑顔あふれる体育大会となりました。練習や準備期間は短く、しかも25年ぶりの5月開催で

戸惑いもあつたと思いますが、オゴ中伝統のブロック演舞(ソーラン節)はどのブロックもアイデアあふれる演技を披露してくれ、強い団結を感じました。

『伝唱』をスローガンにとりくんだ文化発表会。

ひとつひとつのことが丁寧にとりくまれ、ステージの部も展示の部もみなさんのがんばりと協力で、全員がスローガンを意識した文化発表会となりました。合唱コンクールはさすが3年生と、聴く者の心が震えるような見事な歌声を響かせてくれ、合唱を通して学級のまとまりが生まれることを教えてくれました。これらは、ひとりひとりに力がつき、その力をまとめあげた、まさに集団の高まり、学校の一体感の高まりを示した瞬間でした。すべては、卒業生のみなさんの先導なくしては得られない成果だったと思います。



体育大会 R6.5.19



文化発表会 R6.10.18

卒業生のみなさんに最後に伝えたいこと…〈「学び」は人生を豊かにする体験〉

今、世界では、戦争や争いが続き、平和に過ごせることが当たり前ではないと感じさせられることがたくさんあります。遠くの国の話のように思えるかもしれませんが、物の値段が上がったり、暮らしに影響が出たりと、私たちの日常にもつながっています。さらに私たちが生きるこの時代は、技術がどんどん進み、世の中の変化がとても早くなっています。

こんな時代を、どうやって生き抜いていけばいいのでしょうか。

有名な科学者、チャールズ・ダーウィンは、著書「種の起源」の中で、こんな言葉を残しています。「最も強いものが生き残るのではなく、変化にうまく対応できるものが生き残る。」

これから先、どんな未来が待っているかは誰にもわかりません。でも、はっきりしていることがあります。それは、変化を恐れずに学び続け、日々、自分自身をアップデートさせていくことが未来を切り拓く力になるということです。

また、フォードモーター社を設立したヘンリー・フォードも、こう言っています。

「何歳であっても、学ぶことをやめたときに年を取る。学び続ける人は、いつまでも若い。」
学び続けることは、すごい力があります。新しい知識が増えるだけではなく、困難を乗り越える強い心をつくったり、自信をもてるようになっていたり、人とのつながりを深めたりすることもできる効果があるのです。学びは人生を豊かにする体験だということです。

学ぶ機会は、学校だけにあるわけではありません。本を読むこと、旅をすること、誰かと話すこと、すべてが学びにつながります。

みなさんには、これからも学ぶことを大切にし、自分を少しずつ成長させてほしいと思います。そして、変わり続ける社会の中で、勇気をもって挑戦し、自分の夢に向かって進んでいってください。私たち教職員は、みなさんがこの先、どんな時も自分の「命」を大切に、精一杯生き抜いてくれることを心から願っています。

【卒業生の保護者のみなさまへ】

お子さまのご卒業 おめでとうございます。
お子さまは立派に成長し、とても頼もしくなりました。今日まで絶えず本校教育へのご理解とご協力を寄せていただきましたことに、深く感謝申しあげます。本当にありがとうございました。





小郡市立小郡中学校

令和7年3月24日

小郡中学校だより 第231号
最終号 校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

〈次年度に向けて〉『凡事徹底』…当たり前のことを当たり前に行き続ける

時が経つのは早いもので、今日で本年度(令和6年度)も修了です。本年度は体育大会を5月に開催するなど学校行事の変更もありましたが、この1年間はいろいろな場面で協力してとりくんでいる姿も多く見られ、よくがんばったと思います。次年度も生徒のみなさんの活躍、そしてさらなる成長をたのしみにしています。



さて、先日126名の先輩が卒業しました。いい表情で卒業生が巣立ってくれたことを本当にうれしく思っています。

その卒業式での答辞の中で、
さんは1、2年生に次のような言葉を残しました。

「在校生のみなさん、今までたくさんの力を与えてくれてありがとう。私たちは先輩としての背中を示せていましたか。これからみなさんは、たくさんの壁にぶつかると思います。そんな時は一つだけでいいので、自分が意識することを決めてください。相手の目を見て話す、自分の思いをもつ…何か一つ続けてください。続けたことは力になり、何かを続けることは自分の自信になります。自分の軸をもち、自分たちならではの小郡中学校をつくってください。」

4月からは、新入生を迎え「先輩」と呼ばれるようになる1年生、学校生活で常に模範を示す「最上級生」になる2年生。いよいよみなさんが小郡中学校の看板を背負うことになります。仲間とつながり、仲間と共に成長してほしいと思っています。ぜひ、先輩の激励と期待を胸に小郡中の歴史と伝統を受け継ぐとともに、「小郡中人権宣言」も含め、発展させていかなければなりません。この春休みに、その心の準備をしてほしいと思います。

そこで、さらにすばらしい小郡中学校にしてほしいという願いをこめて、再度、みなさんに意識してほしいことを伝えます。

パナソニック(旧社名:松下電気器具製作所)を一代で築き上げた経営の神様と呼ばれている松下幸之助さんは、『伸びる会社は、訪問すればすぐわかる。「いらっしゃいませ、おはようございますというさわやかな挨拶が返ってくる会社」、「事務所や工場がキッチリと整理整頓されている会社」、「トイレの掃除がゆきとどいている会社」。この3つのことができている会社は間違いなく伸びる。逆に、これらが出来ていない会社は、今、ある程度の業績であっても、必ず駄目になる。そして、このことは人にもあてはまる。当たり前のこと、簡単なことをしっかりやり続けている人は、間違いなく成長する。凡事徹底〈当たり前のことを当たり前に行き続けること〉ができない人は絶対に伸びない…』と仰っています。

この3つができていない会社や学校、人は成長しないということです。
今、笑顔で挨拶ができていますか？ 教室などの学ぶ場所が整理整頓されて
いますか？ 学校のトイレはきれいですか？…まず、環境を整えるということ。そし
て、当たり前のことを徹底的に行うことは、学校はもちろん生徒のみなさんが成長できる土台
であることを再度確認したいと思います。



明日から春休みになりますが、まずは健康に留意し、一日一日を大切にすごしてください。
では、4月7日(月)の始業式、元気に笑顔で登校してくれることを願っています。

〈百折不橙 ～今日の学びを明日につなげる～〉…生徒総会が開催されました

生徒総会が3月14日(金)に行われ、生徒会スローガンや専門委員会の活動目標・活動内容等が審議され、決定しました。また、各学級代表者による意見発表もあり、スローガンに賛成の立場で思いを述べてくれるなど、みなさんの真剣な表情が見られました。



生徒総会の様子

生徒会活動は、生徒のみなさんの学校生活をよりよく充実したものにするための活動です。ですから、大切なのは生徒会活動は生徒会拡大執行部だけの活動ではないということです。生徒のみなさんの応援なしでは進まないし、生徒のみなさんの生徒会活動に対する理解と協力が活動を活発にさせるのです。ぜひ、小郡中学校の生徒であるという自覚と責任をもち、役割を果たせる人、誰かの役に立てる行動ができる人になってくれることを期待しています。

生徒会スローガンは【百折不橙 ～今日の学びを明日につなげる～】です。「何度心が折れても再び小郡中の仲間と立ち上がろう」という思いが込められており、仲間と支えあいながら、質の高い信頼関係を築いていこうというものです。ぜひ、小郡中学校の伝統のさらなる発展と生徒全員が安全で安心して生活できる学校をつくってほしいものです。

生徒会拡大執行部のみなさん、短い期間での生徒総会の準備、本当にお疲れさまでした。これからのみなさんの粘り強いとりくみに期待しています。

〈1, 2年生〉お別れ合唱会がありました

3月18日(火)に1, 2年生のお別れ合唱会がありました。今の学級での仲間との生活を振り返るとともに、次年度に向けての決意を確認する会でもあります。学級目標は達成できたでしょうか。自分も友も伸ばすことができたでしょうか。そして、次年度、自分はどのようなことをしなければならないのか、など自分の考えを整理する時間にもなったと思います。



お別れ合唱会の様子

〈保護者のみなさまへ〉

学校関係者評価を受けての評価結果と改善の具体的方策については、小郡中学校ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。次年度も子どもたちのさらなる成長のために教職員一同全力を尽くしてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学校だより最終号にあたって…ありがとうございました】

「学校だよりを楽しみにしています」という保護者の方々のありがたいお言葉もあり、8年間発行し続けることができました。私(船津)の思いが少しでも読んでいただいたみなさまに伝わっていたらいいなあと考えているところです。本当にありがとうございました。